



広報えびちゅ

発行/YEBISU LLC広報部 本社/〒412-0021 静岡県御殿場市二枚橋312-1

June 2024

YEBISU LLC PRESENTS www.yebisu.org

募集

- 新進気鋭のDTPオペレーター
- イケてるカメラマン

詳しくはHPをご覧ください。

可愛い切ない身近な生きものたち。

私のペット事典

犬

- 子供が小学生の頃、柴犬を飼っていました。自転車で散歩中、急に犬が勢いよく走り始め私は引きずられて自転車ごと田んぼの土手にダイブ。顔から落ちて顔面半分血だらけで病院に行くはめに。でも犬のルールは離しませんでした。高根マダム
- 飼っていた犬が亡くなって半年近く過ぎた頃、新たに保護犬の話があり、娘がどうしても、と言うので飼うことになりました。マルチーズのオスです。とてもやんちゃで1ヶ月に3個のペーすでおもちゃを壊します。奥山くん
- 1年に1度、母の友人からトイプードルを預かる時があります。1週間程度です。とてもちよいと良い期間です。ずっとは飼えないから。犬の愛に比べられそうにない。機長くん
- 茗荷谷に住んでいた幼稚園児の頃、オリを積んだ野犬狩りの車が放し飼いの犬を捕まえに来ました。飼う犬か野良犬かはつきりしない犬が自由にしていた頃です。オリの中に知っている犬がいると犬の飼主の所へ走ったり、職員の人に大声で知らせたり、大人も子供も大騒ぎでした。三丁目の夕日さん
- シュナウザーのヒジキちゃんは「お腹を出して「さすれ！さすれ！」と片足を上げます。これ



- やってこれるのは私にだけでした……。たまに会いたくありませんね……。
- 元妻が連れて行った「名犬ラッシー」の中の一場面「ママに怒られた少年ジョンがラッシーと一緒に納屋に入りワラの布団で寝てしまう」というシチュエーションに憧れて「この家の子供になりたい」と思っていました。三丁目の夕日さん
- ビーグルを飼っていました。9歳でした。ドライブが好きでソフクリームが好きで山が好きでした。悲しみのカメラマン
- 松戸の叔母の家のピットブルは寂しがり屋で留守番ができません。私の実家の葬式に2泊来た時も一緒に泊まりました。猫がいるので、うちに泊まりました。主人と男子小学生2人は大喜びで、憧れの犬枕の争奪戦になりました。たまちゃん

鳥

- 僕が成人してから母親が黒柴を飼いはじめました。犬を飼ってから知った、両親や祖母の一面が見れて楽しかったです。みんなデレデレでした。一馬くん
- 隣の田んぼの家の柴犬も、地主さんの柴犬も、「豆柴」と言われて飼いはじめたのに「ふつうの大きさの柴犬」に育っちゃったのだそうです。「でも可愛いよ。」と言いながら散歩させています。もうすぐ夏です。豆ママさん
- 20歳の時、初めてのボーナスで買ったメスのシェパード(当時10万円)。1年も経たないうちに父親が散歩中、よその車を追いかけて行き、そのまま帰ってきませんでした。田山くん
- 白鳥おじさんに憧れて、時々庭に古々米や木の実を撒きます。スズメおばさん
- チャボが5、6羽いて毎朝玉子をとって食べていたが、1ヶ月に1度くらいハクビシンに網を破かれ、1羽ずつ食べられていった。神場の王子様
- 小学2年生の時。祭りの屋台で2羽のヒヨコを買ってもらいリチャードとボブと命名。朝エサをあげるのが日課でした。ある日、いつものエサやりをしようとヒヨコを入れていた発泡スチロール箱のフタを空けた瞬間、同居していたネコが本能全開でボブを噛んで行ってしまいました。数十分後、満足気に毛づくろいしているネコに「一生帰って来るな！」と泣きわめいたら、数日後本当に帰って来なくなりました。自分の落ち度と発言に悔やんだ苦しい思い出です。谷戸の次男
- 高尾祭で買ったヒヨコ2羽のうち1羽が元気に成長し、数週間したらニワトリになってしまったため、外の小屋で飼っていたが、日に日に狂暴化し、ばあさん

動物は苦手

- 動物園やTVで見ただけならOKですが動物全てが苦手です。今まで飼ったことも、今後飼うこともありません。
- のんちゃん他多数
- 小学生の息子2人が「責任を持って育てるので飼っていいですか!？」とキラキラした目で虫かごを持ってきた。中にはトカゲが入っていて全力で拒否した。爬虫類はドン引きさん
- 足柄小の2人1組のチャボ当番。どうしても小屋に入れなかった私は、外で掃き掃除をし、玉子拾いは友達にやってもらっていました。のんちゃん
- ペットは飼っておらず、飼う予定もないですが、SNSやYouTubeで猫やウサギの写真や犬の動画を見て癒されています。妹がアレルギーさん
- 犬も猫もずっと興味がありませんでしたが、数年前結婚した妻の実家のオスのトラ猫13歳はお腹を広げてさわってくれとおねだりしてきます。その姿に癒され、動物好きな妻の影響もあり、最近なんだか猫好きになってきました。結婚6年目さん
- 私以外の家族はみんな動物好きだけど、私は動物が苦手。動物好きに生まれたかった。たまちゃん
- 犬と楽しそうに遊んだり、「かわい〜」と嬉しそうになでたりしているコワモテの男の人を見ると、ちょっと好きになってしまふ。まさに夫がこれです。夫ラブさん

虫・爬虫類など

- 実家住まいの時、家族に内緒でへび(ボールパイソン)を飼っていました。エサの冷凍ネズミを解凍する時には食べる分だけビニール袋に入れて浴槽にポチャンと入れておくのですが、ある時「キヤー」とおばあちゃんに見つかり、ごまかすのに大変でした。末っ子
- お父さんが、買った活きサザエを育てようとしている。「キヤベツを食わせるとおいしくなるらしい!」と意気込んでいるが、ペットにしたら食べるの嫌になると思う。西田中のサザエさん
- 10年ほど前に須山でミヤマクワガタをひと夏で50匹ほど採り、須山の友達から「採り過ぎ!」と言われ、1年間出入り禁止になりました。奥山くん



ネコ

●ポinchちゃんは、ネコ科動物のTV番組が好きです。久美ちゃん



●ネコが居なくなった時、電話占いの人に「どこにいるか教えてほしい」と尋ねたら、占い師は「戻っては来ない。別の飼い主の所で可愛がられている。」と答えた。ベストアンサーだ。安倍晴明

●4歳だった娘がネコを欲しがっていたので、主人がアメリカカンショートヘアの子ネコを友人からもらってきました。可愛いサプライズに娘は飛び上がって喜びましたが、「生後2ヶ月の赤ちゃんがいるのに動物なんて！」と義父母は猛反対。主人は父母を無視してそのまま飼おうとしましたが、あまりの剣幕に負け、次の日返すことになりました。娘はしばらく元気がなく、主人も泣きたい気持ちだったと思います。それ以後、動物は何も飼っていません。所領の嫁

●飼っている猫が今年の4月で19歳になりました。18歳で実家を出たので、今のところ、この猫が最も長く人生を共にしている生き物です。東山のカメラマン

●コゲちゃんは、どんなにトイレを綺麗にしても時々ソファに粗相をしてしまうので、普段はソファにブルーシートを掛けています。来客の時には慌ててブルーシートをはがすので面倒くさいです。久美ちゃん

●保護ネコだった2匹が大きくなりました。大きくなっても



話し相手

可愛い、とはいえ貫禄が出てきました。そろそろうちの母親が子ネコを拾ったり、もらってきたりする頃かも、と思っっています。一馬くん

●ネコは腎臓が弱点なのだそう、その為の餌が開発され、与える寿命が伸びるそう。『そんなと今から子ネコは飼えねえなあ。』表替えを済ませた畳屋の府川さんは寂しそうに笑いながら帰って行った。古畳さん

●おかかちゃんが帰って来なくなったので「もしかすると」と思って、役場に「〇日前後に谷戸らへんでネコが轆かれていますんでしたか？」と尋ねたら、役場の人が「該当するのがあるので見に行きましょう。」と言ってくれて、待ち合わせて行ったら消防署の裏の大きな冷凍庫から見覚えのある毛色のコチコチに凍ったのを出してきてくれた。道で轆かれたペットは何日間か役場が保管してくれるということを知って「優しいなあ。」と思いました。末っ子

●ネコがいなくなった時、手作りチラシを近所やコンビニやスーパーに配った。今も迷子の犬や猫の張り紙を見かけると胸がつかまる。迷子の大猫ちゃん

●畑に捨てられていた子ネコを娘が拾ってきました。拾った本人は進学のため家を出しましたが、7歳になったネコはおばあちゃんの良き話し相手です。ナカザ

●保護猫の「クロ」は警戒心が強くて、私に慣れる前に行ってしまった。付き合いが一番長かったのはオスの「みい」。おとなしい健気な子です。娘が「みい」を描いた油絵が家に飾ってあります。元気かな。元妻が連れて行ったさん



クロとみい

●森の腰のエビに捨てられていた子ネコを、エビの人に「一晩預かって！」と言われました。可愛いので8年経った今も預かっています。田山くん

魚

●ピンポンパールや色んな金魚を飼っていたのですが、釣り堀で採った金魚を追加したところ、病気を患っていたらしく1週間で全滅してしまい、金魚を可愛がっていた息子が激怒した。奥山くん

●昨春秋によく水槽を片付けられた。娘が保育園長児時に平塚の七夕祭りの金魚すくいので獲った和金2匹。子を取りながらつないでつないで飼うこと約14年。2週に1回水替えと2ヶ月に1回の水槽丸洗いを全て私（たまに妻）がこなした。その間、娘本人は1回も手入れをしたことがない。『小さな命の大切さ』を言った手前、邪険にもできず、面倒を見た。その最後の1匹が亡くなり、正直ホッとやる気の明倫子

した。さすがに最後の1匹の処分は18歳の娘と川に流して行ってきたが何か感じてくれただろうか？四万十川さん

●金魚すくいの金魚を飼ったことあります。（すぐに死んでしまいました。）まほさん他多数

●メダカを5匹一馬くんからもらって漬物かめで外で飼っていましたが、卵もかえして増えたり減ったりしつつ5、6匹をキープしてました。2023年1月の大寒波でかめごと氷漬けになってしまいました。メダカは強いので氷が溶ければもしやと淡い期待をしていますがダメでした。エサをあげる時には水面近くまで近づいて来てくれ、毎日楽しくしていたのに残念です。それから飼っていません。機長くん

●庭のプラ池に鯉を飼って、弟や妹とたまに掃除をしていたが、水がきれいになると中がよく見えるせいか、ノラ猫やハクビシンに食べられ、いなくなった。神場の王子様

●近所の人からもらったのがきっかけで、母親がメダカに凝っている。水槽、かめ、発泡スチロール箱、水が溜められるものなら何でも活用して外に置き、卵を産み付ける水草を入れたりして楽しそうにしています。一馬くん

ほか哺乳類

●以前「子ヤギ差し上げます」のチラシが、小山病院の廊下に貼ってありました。担当部署は総務課でした。患者さん

●明倫小に「明子」と名付けられた鹿の剥製があります。迷子になって天神原の水路に落ちた子鹿が東電の人たちに助けられ、明倫小で飼われ年をとって亡くなるまで、児童の一人のように可愛がられていたそうです。昭和40年代の話です。

●中学3年生の時に父のアメリカ転勤が決まったのですが、あまり乗り気ではなかったため、アメリカで犬を飼わせてもらうことを条件に決めてきました。結局住まいが賃貸だったため、犬を飼ってもらうことはできませんでした。今でも「ひどい！」とちよつと根に持っています。どうしても何か動物が飼いたかったので、帰国の前にフェレットを飼って連れて帰ってきました。東山のカメラマン

●明倫小からの下校中、コウモリの赤ちゃんを拾った。牛乳を綿棒でくわえて育てて1週間くらいしたら私が近づいただけで「チーチー」と鳴くようになった。何時間かおきに牛乳をやらなといけなかったので親戚に泊まりに行く時も一緒だった。ある日、目を離した時に、羽ばたいて本棚と壁のすき間に入ってしまった。滑り落ちてもがいていたので助け出したが、腕が折れていた。動物病院で「小さ過ぎて治療できません。」と言われ、その日一日様子を見ていたが、だんだん弱ってきて動かなくなりました。お母さんと庭に埋めた小6の夏。末っ子

●子供の頃TVで「わんぱくフリッパー」を観て育ち、イルカはペットの分類に入っていたので、相模原市から小山町に嫁いで初めて魚屋でイルカの切り身を見た時に「フリッパーがこんな姿に！」と、大きな衝撃を受けた。元新妻

●「馬に乗って登校する」のが夢でした。ふつうの馬は大き過ぎて大変なのでポニーが良いです。夢見る若社長



若社長イメージ

編集後記

●大昔は、気付かないうちに「うちの犬に子供ができた！」ということがありました。室内飼いがほとんどの今、そんな話は聞かなくなりました。犬の雑種も絶滅危惧種です。

●小学校で鶏やウサギを飼っているのを見かけなくなりました。近所の学校の飼育小屋はリフォームされて、鶏のかわりに白線引きや石灰が入っています。鶏は飼わないけれど、教室の後ろや廊下に水槽やプラケースを並べてメダカや虫を飼う学校も多いようです。人はなぜ飼いたがるのでしょうか。

●「迷子の子鹿やコウモリを拾って飼うことについて」弊社の営業が富士サファリパークさんで、獣医さんと詳しい方にお尋ねしました。「動物を拾って保護した場合の届け出は犬猫は市町村野生動物は県が担当しています。昔は行政もそこまでうるさくなかったので届け出ずに飼育した人が多いと思います。今は、野生動物全般の取扱が非常に厳しくなりましたので、鳥を含む野生動物については、県の野生動物担当機関（静岡県は農林事務所）に問い合わせしてください。野鳥への餌やりは、パンなど人間の食べ物には添加物やカロリー的な理由で控えてください。日本野鳥の会などのHPをご覧ください。最近の鳥への餌あげで心配されているのは、野鳥と家禽、人間間での伝染病です。」というお話でした。

●スズメもメダカも自然下での寿命は1、2年。会えた時をご大切に。この紙面に載せきれなかった「山北の園芸王子」のエピソードと、ここに載っている話の「その後」をエビスHPで紹介しています。よかったらご覧ください。編集T